

6月分「希望の砦」役員会兼定例会協議事項報告

1日時 6月14日(日) PM1:30~

2場所 「砦」計測場

3参加者 山田、三宅、野越、嘉部、竹原、森、谷山、柴田、柴田(茂)

協議事項

- ① アースデー参加の反省・評価
- ② その他

① アースデー参加の実施報告及び参加者個人の所見

☆5月23~24両日で実施されたアースデーに「砦」は130kgのスペクトロメーター一定器を持ち込み22日夜から詰めて測定所を設営した。会場に竹原、三楠両氏が泊まり込みバックグラウンドの設定を行い、会場までに測定環境を整えた。機材の運搬設営においては役員の欠席が多く一般会員(猪狩、降旗、三楠の3氏)の協力を頂いた。

☆「砦」の来客数は少なく、放射能問題への関心が薄れていることが実感されたが、展示資料を見入る客も少なからずいた。

☆検体測定実数は8件のみであったが、乾燥ぜんまい除き数値は高くなかった。

☆アースデー参加の出店者もアースデーの意義をあまり認識していないためか、彼らの測定依頼は皆無であった。出店者の依頼が無いならば会場における測定の意義がないのではないか。

☆今後の課題として、アースデーで測定するかしないのか、資料の形式と併せて次年度の検討課題とする。

その他

○ADRに関しては今まで組織的関与をしてこない経緯で、2次募集問題に関する検討は行わないと確認した。6月15日、16日にNHKを始めとしたメディアの放映があった。

○以後の「砦」の取り組みとして

定点放射線計測を実施する。住民の放射能問題に関心が希薄になったといえ、子育て中の若い両親が、今以て不安を訴えている方が多いので

「子どもの低線量被曝」に見識のある有識者を招いての講演会の開催など持つことも必要であるという意見交換もなされた。